

一生に一度“生”で聴きたい名曲シリーズ、第2弾はロシアへの旅



吹奏楽界のレジェンド、 汐澤安彦による 白熱のオールロシア プログラム!

指揮: 汐澤安彦 Yasuhiko Shiozawa

グリンカ: 歌劇「ルスランとリュドミラ」作品5より“序曲”

ボロディン: 交響詩「中央アジアの草原にて」

ボロディン: 歌劇「イーゴリ公」より“ポロヴェツ人の踊り”

チャイコフスキー: 交響曲第4番 へ短調 作品36

11/1 2023

[水]

18時開場/19時開演

東京芸術劇場 コンサートホール

パシフィックフィルハーモニア東京

第2回名曲シリーズ

定期会員先行発売: 7月21日 [金] 一般発売: 7月28日 [金]

S席: 5,000円 A席: 4,000円 B席: 3,000円

ご予約・お問い合わせ: PPTチケットデスク **03-6206-7356** (平日10-18時)

パシフィックフィルハーモニア東京  ppt.or.jp

主催: 一般社団法人パシフィックフィルハーモニア東京

公益社団法人 企業メセナ協議会 助成認定活動



PACIFIC
PHILHARMONIA
TOKYO

NORICHKA IIMORI
MUSIC DIRECTOR

伝統に「革新」を取り入れる。



ロシアとウクライナの幸せな関係

ウクライナ侵攻の影響で、一時、ロシア音楽がプログラムから消えかかった時期がある。だが本来、ロシアとウクライナは少なくとも音楽のうえでは、たいへん幸せな関係にあった。

たとえばロシア国民楽派を代表する歌劇《ルスランとリュドミラ》と《イーゴリ公》は、ともにキエフ大公国(現ウクライナ東部)にまつわる大冒険ロマンである。《中央アジアの草原にて》では、ウクライナの南方、コーカサス地方とロシアの交流が描かれた。さらにロシアといえばチャイコフスキーだが、彼の曾祖父はウクライナ兵士で、もとの姓は「チャイコ」だった。ウクライナでは一般的な姓だが、戦功でロシア的な「チャイコフスキー」に改名したの

である。彼の曲にしばしば登場するウクライナ民謡の旋律は、自身のルーツだったのだ。

そんなチャイコフスキーが絶頂期の始まりを告げた名曲が《交響曲第4番 へ短調》である。特に最終楽章に登場するロシア民謡《野に立つ白樺》はウクライナでも民謡舞曲として知られていた。パシフィックフィルハーモニア東京がスタートさせた名曲シリーズの第2回は、吹奏楽界でも知られるベテラン汐澤安彦が登場する。せめてこのひとときだけは、ロシアとウクライナの本来の姿に思いを寄せ、耳を傾けたい。

富樫鉄火(音楽ライター)



指揮: 汐澤安彦 Yasuhiko Shiozawa

東京芸術大学器楽科卒業、同専攻科修了。トロンボーンを山本正人、指揮を金子登の各氏に師事。

当初、バス・トロンボーン奏者として読売日本交響楽団に在団、傍ら、桐朋学園において斎藤秀雄氏より指揮法を学ぶ。

1973年、民音指揮コンクール(現・東京国際音楽コンクール指揮部門)にて最高位を獲得。後に、渡欧。ベルリン音楽大学、カラヤンアカデミーにてさらに指揮者として研鑽を積む。帰国後、オーケストラ、吹奏楽、オペラ、合唱の各界で活躍。中でもオペラ「夕鶴」(團伊玖磨作曲)の指揮は数多い。

これまで東京佼成ウインドオーケストラ、二期会合唱団、東京吹奏

楽団など、各常任指揮者を歴任。また、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル指揮者として、永年、その任にあった。

他方、ソニーをはじめ、東芝、ビクター、キング、ファンハウス、などで制作された数々の録音、録画等は余りにも多く、枚挙にいとまがない。

1999年、日本吹奏楽学会/第9回日本吹奏楽アカデミー賞(演奏部門)受賞。

2014年、2017年、ベルリンフィルハーモニーホールにて、再度、日独親善友好記念「第九コンサート」を指揮。

オーケストラはもとより、吹奏楽界など幅広く活躍、プロの団体から学生・一般市民団体まで分け隔てなく“音楽に情熱を注ぎ込む”...その烈しいまでの熱い姿勢には定評がある。

東京吹奏楽団名誉指揮者。東京音楽大学名誉教授。



管弦楽: パシフィックフィルハーモニア東京 Pacific Philharmonia Tokyo

1990年「東京ニューシティ管弦楽団」として設立。定期演奏会等の自主公演の他、オペラ、バレエ、レコーディング、メディア出演、ポップス演奏会など幅広く活動。2018年からは楽団誕生の地・練馬で定期演奏会を開催し、地元根差した活動も行っている。音楽監督: 飯森範親、指揮者: 園田隆一郎、ポップスエグゼクティブプロデューサー: 藤原いくろう

チケット購入

定期会員先行発売: 7月21日[金] 一般発売: 7月28日[金]

S席: 5,000円 A席: 4,000円 B席: 3,000円

パシフィックフィルハーモニア東京 ppt.or.jp

PPTチケットデスク(平日10-18時) **03-6206-7356**



プレイガイド

・東京芸術劇場ボックスオフィス: **0570-010-296**(ナビダイヤル)

・チケットぴあ
<https://t.pia.jp>



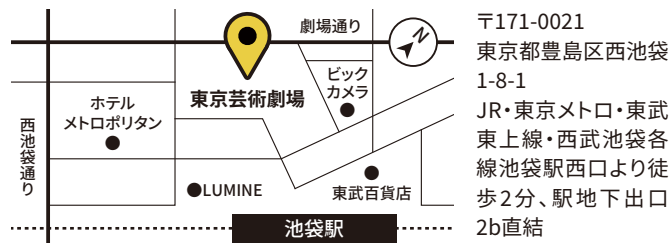
・イープラス
<https://eplus.jp>



割引

- ・シニア割引: **10%OFF** (60歳以上)
 - ・ユニバーサル割: **10%OFF** (障害者手帳をお持ちの方)
 - ・U25割: **50%OFF** (25歳以下)
 - ・団体割: **10%OFF** (10名様以上でのご予約者全員)
- ※この他の割引に関しては楽団のWEBサイトをご覧ください。

会場 東京芸術劇場 コンサートホール



メールマガジン・SNS

最新情報・お得な情報はここから



LINE Twitter Instagram Facebook メールマガ登録

[注意事項] ※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※やむを得ず、出演者・演目が変更になる場合がございます。 ※公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・払い戻しは行いません。